

T&K TOKA®

中期経営計画

“With You toward 2020”

株式会社T&K TOKA

2017年11月

証券コード 4636

目次

I. 当社の概要

- (1) 社名の由来
- (2) 発展の経緯
- (3) 企業理念

II. 中期経営計画

- (1) 目指す姿の位置づけ
- (2) 主要事業
- (3) 環境変化と中期経営計画
の基本方針
- (4) 中期経営計画の位置づけ
- (5) 基本戦略
- (6) 重点施策(1-3)
- (7) 成長を支える基盤整備

III. 資本政策



I . 当社の概要

(1) 社名の由来

T&K TOKA

Technology & Kindness
(技術と真心)

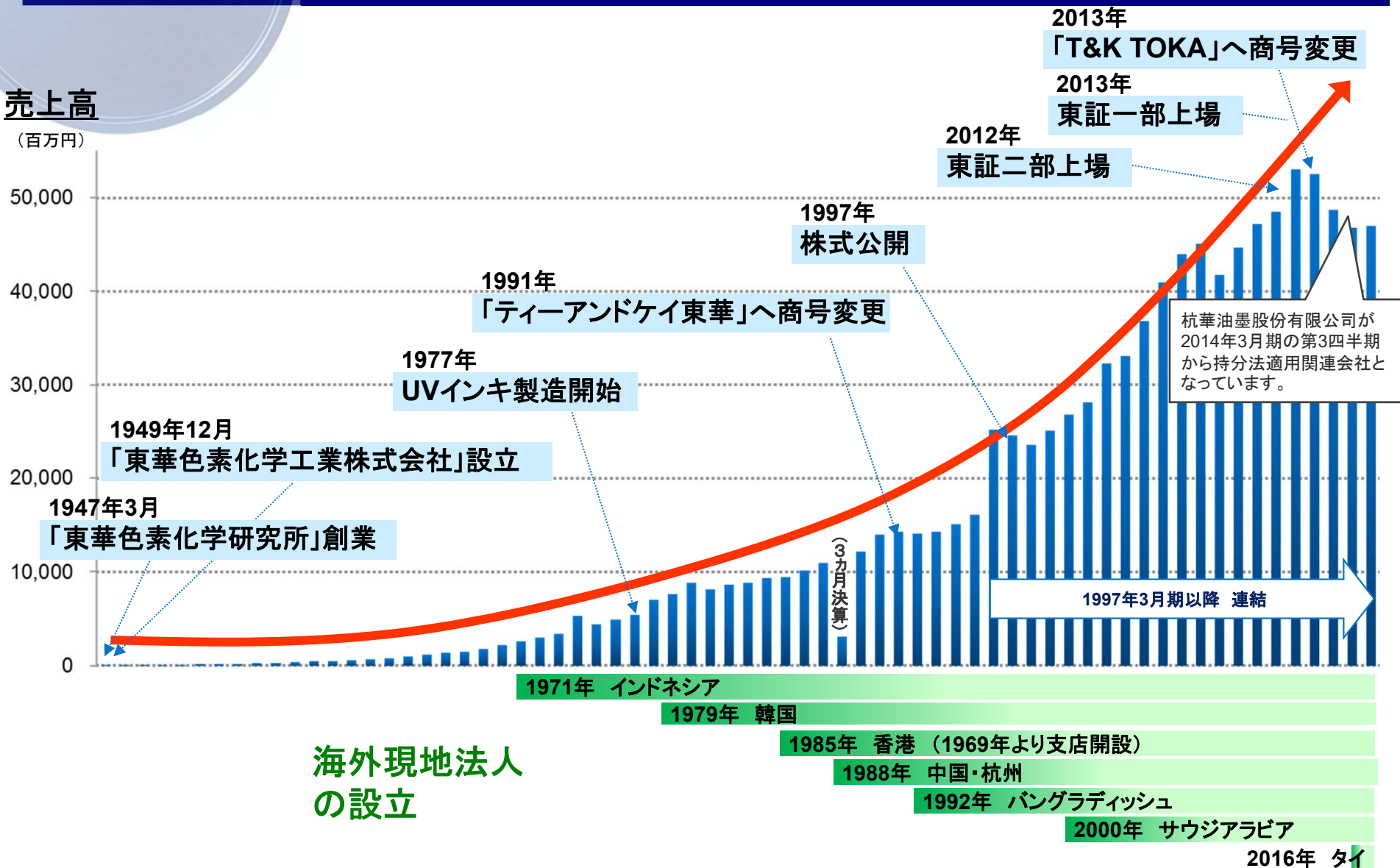
経営理念である
「科学技術と
人間性のある思いやり」
を表しています。

東京  中華

創業者は戦前、
中国でインキ業に携わっていました。
帰国後、
中国との架け橋になりたい
との思いから、名付けられました。

(2) 発展の経緯

売上高
(百万円)



海外現地法人
の設立

* 96.3期以前は単体、97.3期以降は連結の数字。89.3期は、決算期変更のため3ヵ月決算。T&K TOKA

(3) 企業理念

Technology & Kindness

技術と真心

時代は変わっても、伝えたいモノは変わらない

T&K TOKAIは、創業から70年、一貫してインキを専業としてまいりました。「Technology & Kindness」の言葉に表されるように、創業から大切にしてきた、「使いやすく、いいものを提供していこう」という「まごころ」は70年経った今も、当社のDNAとして息づいています。これは、100年後も変わらないし、変えてはいけなと強く思っています。

一方で「テクノロジー」。今現在も高い評価をいただいておりますが、次々と変わりゆく時代に対応するためには、よりいっそうの変化が必要だと考えています。

時代は『小ロット多品種生産』が求められています。これはまさしく当社の得意とするところであり、今まで以上にお客様の要望に応えていけるものと確信しております。

インキメーカーとして先発ではありませんが、だからこそチャレンジングな姿勢を忘れず、より付加価値の高い製品をご提案させていただきたいと考えています。

A graphic consisting of three vertical dark blue bars on the left, followed by a large dark blue arrow pointing to the right. The text 'II. 中期経営計画' is centered within the arrow.

II. 中期経営計画

(1) 目指す姿の位置づけ

経営理念

Technology & Kindness

技術と真心

目指す姿

“みなさま、そしてまだ見ぬあなたに
「TOKAと出会えて良かった」の思いを広げる”

中期
経営計画

“With You toward 2020”

(2018年度～2020年度)

(2) 主要事業

〔世界最大印刷展示会への出展〕



日本及び世界へ展開



＜主な製品＞

(微分散品)

- ・光ファイバー用着色剤
- ・カラーフィルター用分散液
- ・機能性コーティング用分散液

(機能性樹脂)

- ・エポキシ樹脂用硬化剤
- ・熱可塑性樹脂

＜主な印刷インキ＞

- ・情報媒体用印刷インキ
- ・パッケージ用印刷インキ
- ・最終製品用印刷インキ

〔UVインキ〕



〔パウダーレスインキ〕



(3) 環境変化と中期経営計画の基本方針

環境変化



対応内容

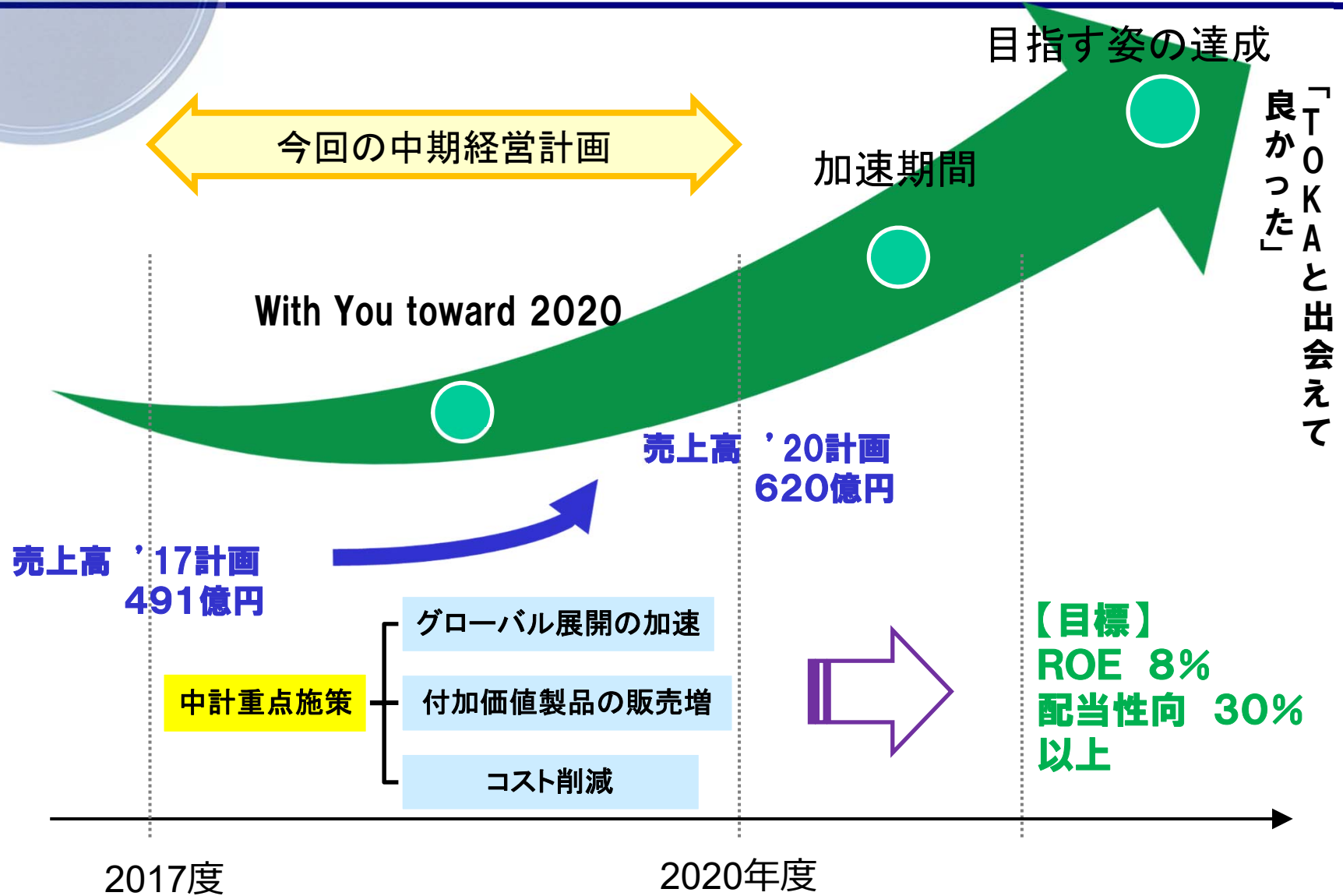
- ・情報媒体印刷の縮小
- ・成熟国市場の縮小
- ・巨大メーカーの寡占化
- ・普及品の低価格化…等

- ・欧米市場への本格進出
- ・付加価値品への注力
- ・規模拡大スピードUP
- ・部門/グループ総力化と効率化

基本方針

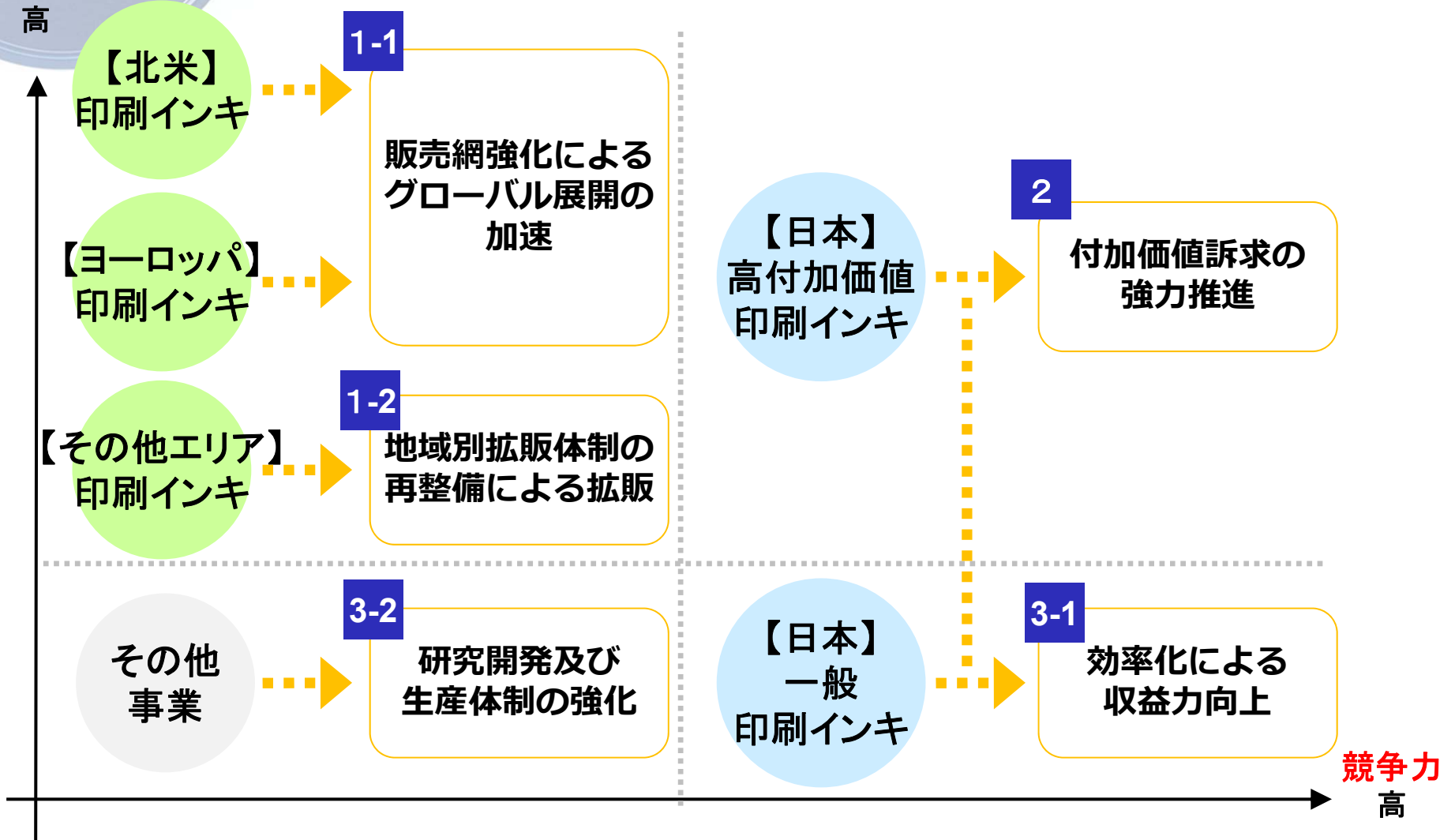
1. コストリーダーシップに対して“差別化”と“集中”
2. 付加価値品の割高対応、労働生産性向上・効率化
3. 脱成行き(方法、製品、事業、組織)

(4) 中期経営計画の位置づけ



(5) 基本戦略

市場拡大余地
高



(6) 重点施策1 グローバル展開の加速

1-1 販売網強化によるグローバル展開の加速

(ヨーロッパ)

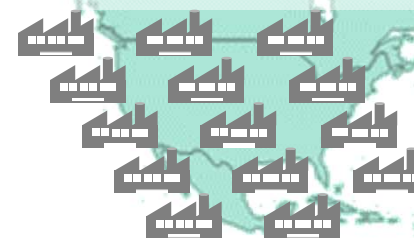
アライアンス等を視野に
ブランド・販売網を強化し、
拡販を推進。



重点展開地域

(北米)

地域代理店との協業を強化し、
市場規模の大きい5都
市エリアへ拡販を推進。



日本



【北米・ヨーロッパでの拡販に向けたポイント】

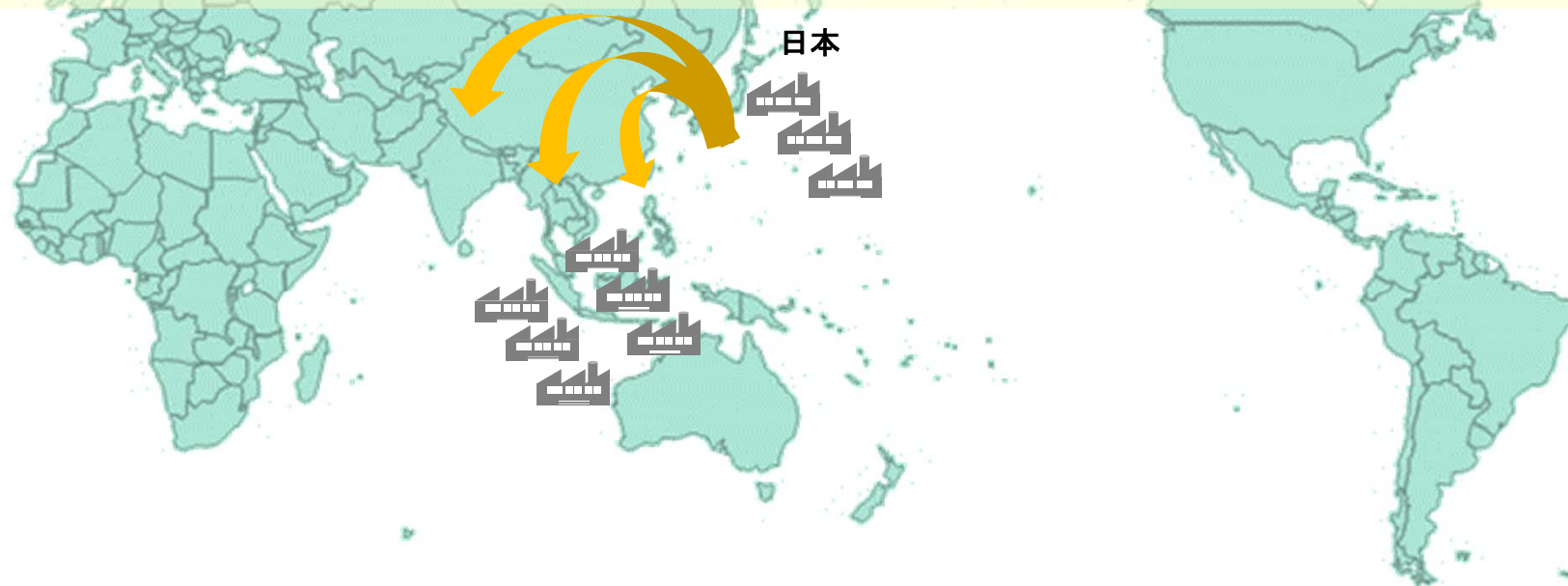
- 市場規模が大きくTOKAグループの競争力が高いUVインキを中心に拡販する。
- アライアンス等を視野に各地域における販売網を強化し、販売を促進する。

(6) 重点施策1 グローバル展開の加速

1-2 地域別拡販体制の再整備による拡販

【その他エリアでの拡販に向けたポイント】

- 地域別の市場成長度合いを踏まえ、地域特性に適した油性インキ、UVインキそれぞれの高級市場をメインとした獲得を図る。
- これまで築いたポジションをもとに地域別拡販体制を再整備し、TOKAグループ及び協力代理店との連携により拡販を推進する。



(6) 重点施策2 付加価値訴求の強力推進

2 付加価値訴求の強力推進

UVインキ

新規市場の省電力UVインキでも
トップシェア獲得

- UVインキの競争優位性を活かし、お客様にトータルコストメリットの高さを訴求。
- 低マイグレーション対応など環境対応UVインキの開発及び展開。

主なUVインキ

BEST CURE
UV CORE

枚葉インキ

高付加価値枚葉インキの
シェアを倍増

- パウダーレスインキ“キレイナ”など、商品力を活かして機能性分野に一層注力した拡販を推進。

主な高付加価値枚葉インキ

BEST ONE
KIREINA

2016年度グッドデザイン賞受賞



(6) 重点施策3 コスト削減・効率化の追求

3-1 効率化による収益力向上

生産・技術部門が一体となったトータルコストダウンの推進

< 生産 >



- ワニス生産時間の短縮
- 昇温・冷却時間の短縮
- 作業工程見直しによる生産性向上
など

< 技術 >



- 顔料及び樹脂の配合ブラッシュアップ
- 分散方法・工程の見直し
- 廉価原材料の使いこなし
など

(6) 重点施策3 コスト削減・効率化の追求

3-2 研究開発及び生産体制の強化

< 研究開発体制 >

新素材分野における新製品の
開発体制の拡充。
社外研究機関との共同開発
体制の構築。



< 生産体制 >

滋賀工場の有効活用による
効率化及び供給力強化。



< 滋賀工場 >

(7) 成長を支える基盤整備

1. システムによる効率化

- 業務プロセスの洗練化及び可視化により持続的成長を導く。

2. グループ会社間の連携強化

- TOKAグループ内の開発機能や調達機能の相互強化により、グループとしての力を最大化。

3. 管理の仕組みの高度化

- 管理会計、進捗管理等の仕組みを高度化し、意思決定の迅速化に寄与。



III. 資本政策

資本政策

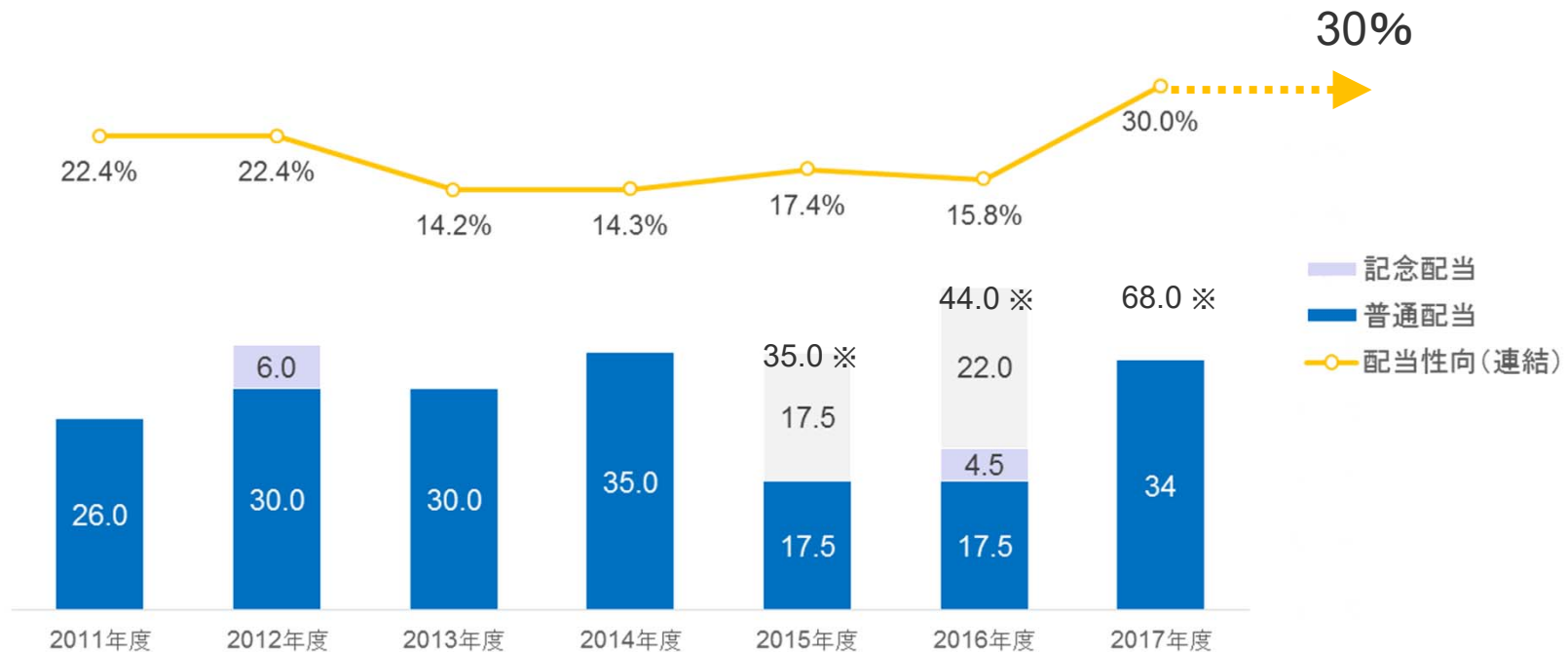
戦略投資の方針

約100億円(3年間累計)を目安に戦略投資枠を設定。

配当の方針

長期的な安定配当を基本とし、中期的な連結配当性向を30%以上とする。

一株当たり配当金(円/株)及び配当性向(連結)の推移



このプレゼンテーションには、当社の計画と見通しを反映した将来予想に関する記述を含んでおります。かかる将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、新サービスの成否等、不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績はこのプレゼンテーションに記載されている将来予想に関する記述とは大きく異なる場合があることをご承知おきください。

また当社は、このプレゼンテーション後において、かかる将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

IRの問合せ先
株式会社T&K TOKA 財務部
Tel. 03-3963-0511
Mail. toka-ir@tk-toka.co.jp

T&K TOKA®